

第 2 期「学ぶ土台づくり」推進計画 検証シート

1 第 2 期「学ぶ土台づくり」推進計画 施策の全体体系

<目指す子供の姿>

元気いっぱい、夢いっぱい、瞳かがやく“みやぎっ子”
～遊びや自然・人とのかかわりを通して、豊かな心をはぐくむ～

目標 1：親子間の愛着形成の促進

施策 1：親子のかかわりの促進 (重点事項) P. 2

施策 2：親の育ちを支援する環境づくり P. 3

目標 2：基本的生活習慣の確立

施策 3：社会総がかりの取組による基本的生活習慣の確立 (重点事項) P. 5

施策 4：体力の向上と食育の推進による望ましい食習慣の確立 P. 6

施策 5：ライフ・ワーク・バランスの促進 P. 7

目標 3：豊かな体験活動による学びの促進

施策 6：人とかかわる体験の充実 (重点事項) P. 8

施策 7：遊びの環境づくり P. 10

目標 4：幼児教育の充実のための環境づくり

施策 8：幼・保・小の連携と小学校への円滑な接続 (重点事項) P. 11

施策 9：特別支援教育の推進と理解の促進 (重点事項) P. 13

施策 10：地域における支援体制の充実 P. 15

2 施策の取組状況

施策1：親子のかかわりの促進（重点事項）

（1）目標指標の状況

No.	指標名	初期値 (H26)	H27	H28	目標値 (H29)
1	平日、父親が子どもとふれあう時間について、1時間位以上と答える保護者の割合	50.3%	<u>78.3%</u>	<u>74.5%</u>	55%
2	平日、子どもとふれあう内容について「読み聞かせをする」と答える保護者の割合	61.1%	61.3%	<u>85.2%</u>	75%
3	生活と親の仕事とバランス（「ライフ・ワーク・バランス」が「とれている」、「どちらかといえばとれている」と答える保護者の割合	77.2%	73.9%	72.1%	95%

※下線は、目標値（H27.3設定）を達成しているもの。

（2）取組の実施状況

取組（第2期計画）	取組の実施状況（予定）※H27～H29年度
① 親子のかかわりの重要性についての啓発	<ul style="list-style-type: none"> 川島隆太教授と考える「うちの子の未来学」（パンフレット）の配布 ※H29:10,000部増刷予定 事業01 「学ぶ土台づくり」圏域別親の学び研修会の開催（H27:7圏域20回、H28:7圏域22回） 事業01 「学ぶ土台づくり」に関する出前講座の実施 事業01
② 親子の共同作業を促す取組	<ul style="list-style-type: none"> ブックスタート講座（H27:1回、H28:1回） 事業02 読み聞かせ講座（H27:4回、H28:12回） 事業02 ブックトーク講座（H27:2回、H28:2回） 事業02 子ども読書活動指導者養成講座（H27:1回、H28:3回） 事業02 みやぎ子ども読書活動推進に関する意見交換会（H27:1回、H28:1回） 事業02 みやぎ子ども読書活動推進担い手交流会（H27:1回、H28:1回） 事業02
③ 家族行事、家事への積極的な参加	
④ 父親の育児参加の促進	<ul style="list-style-type: none"> 県内中小企業へのアドバイザー派遣（H28:20回） 事業03 男性にとっての男女共同参画普及啓発ワークショップの開催（H27:3回、参加者133人、H28:6回、参加者296人） 事業04

< 県関連事業（H28年度） >

- 01：「学ぶ土台づくり」普及啓発事業（教育企画室）
- 02：市町村子ども読書活動支援事業（生涯学習課）
- 03：中小企業ワーク・ライフ・バランス支援事業（雇用対策課）
- 04：いきいき男女共同参画推進事業（共同参画社会推進課）

（3）今後の課題等

- ・ 親子のかかわりの重要性について更に啓発を行い、親子がふれあう時間を確保するとともに、親子の会話や絵本の読み聞かせなど、内容の充実を図っていく必要がある。
- ・ 家族行事や家事への子供たちの積極的な参加を促すため、家庭の自主性を尊重しつつ、家庭や子供たちへ働きかけていく必要がある。

施策2：親の育ちを支援する環境づくり

(1) 目標指標の状況

No.	指標名	初期値 (H26)	H27	H28	目標値 (H29)
1	親として成長していくための学ぶ機会が「充実していると思う」、「どちらかといえば充実していると思う」と答える保護者の割合	41.0%	41.0%	43.5%	50%

(2) 取組の実施状況

取組（第2期計画）	取組の実施状況（予定）※H27～H29年度
① 親自身の学びの機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> 川島隆太教授と考える「うちの子の未来学」（パンフレット）の配布 ※H29:10,000部増刷予定 事業01 「学ぶ土台づくり」圏域別親の学び研修会の開催（H27:7圏域20回, H28:7圏域22回） 事業01 「学ぶ土台づくり」に関する出前講座の実施 事業01 宮城県家庭教育支援チームによる「親の学びのプログラム」派遣事業の実施（H27:14回, H28:18回） 事業02
② 社会全体による家庭への支援	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサポーター養成講座の開催（H27:参加者130人, 修了者90人, H28:参加者113人, 修了者79人） 事業02 子育てサポーターリーダー養成講座の開催（H27:参加者79人, 修了者33人, H28:参加者74人, 修了者38人） 事業02 子育てサポーターリーダーネットワーク研修会の開催（H27:参加者179人, H28:参加者200人） 事業02 宮城県家庭教育支援チーム研修会の開催（H27:参加者117人, H28:参加者136人） 事業02 広報誌「はびるぷ みやぎ」の発行 事業03 「子育て応援団すこやか」及びシンポジウムの開催 事業03 「みやぎっこ応援の店」の普及啓発及び全国共通展開への参画 事業03 「次世代育成支援対策地域協議会」及び「子ども・子育て会議」の開催 事業04 一時預かり事業の支援（H27:24市町村, H28:25市町村）等 事業05 地域子育て支援センターの運営支援（H27:3市町村, H28:2市町村） 事業06 男性にとっての男女共同参画普及啓発ワークショップの開催（H27:3回, 参加者133人, H28:6回, 参加者296人） 事業07
③ 将来の「親」育て	<ul style="list-style-type: none"> 高校生を対象とした「親になるための教育推進事業」の実施（講話, 保育体験等）（H27:実施校10校, H28:実施校14校） 事業01 宮城県家庭教育支援チーム派遣事業（H27:実施校2校, H28:実施校2校） 事業02

< 県関連事業（H28年度） >

- 01：「学ぶ土台づくり」普及啓発事業（教育企画室）
- 02：協働教育推進総合事業（生涯学習課）
- 03：子育て支援を進める県民運動推進事業（子育て支援課）
- 04：子ども・子育て支援対策事業（子育て支援課）
- 05：地域子ども・子育て支援事業（子育て支援課）
- 06：地域子育て支援センター事業（子育て支援課）
- 07：いきいき男女共同参画推進事業（共同参画社会推進課）

(3) 今後の課題等

- ・ 親の学びのプログラム「親のみちしるべ」などを活用し、親として成長していくための学ぶ機会を引き続き提供していく必要がある。また、子育てに関心が低い親など、情報が届きにくい親に対する周知方法や、親に対する個別の対応について検討する必要がある。
- ・ 親自身の学びの機会の提供と合わせて、親になる前の世代に対して、引き続き将来の「親」育てを行っていく必要がある。

施策3：社会総がかりの取組による基本的生活習慣の確立（重点事項）

（1）目標指標の状況

No.	指標名	初期値 (H26)	H27	H28	目標値 (H29)
1	子どもが「午後9時頃までに就寝する」と答える保護者の割合	41.9%	40.0%	46.4%	50%
2	基本的生活習慣の確立に向けた取組を「いつもしている」と答える幼稚園・保育所等の割合	46.0%	39.5%	46.2%	55%

（2）取組の実施状況

取組（第2期計画）	取組の実施状況（予定）※H27～H29年度
① “はやね・はやおき・あさごはん”の励行	<ul style="list-style-type: none"> みやぎっ子ルルブルフォーラムの開催（H27:参加者約220人, H28:参加者約360人） 事業01 基本的生活習慣定着促進パンフレットの増刷・配布（H27:68,000部, H28:67,000部） 事業01 ルルブル挑戦事業の実施（H27:参加者約23,300人, H28:参加者19,255人） 事業01 ルルブル通信の発行（H27:年5回, H28:年5回（「学ぶ土台づくり」便りを併せて発行）） 事業01・03 早寝・早起き・朝ごはん実行委員会 in 宮城との連携（講演会共催） 事業02
② 生活習慣づくりに関する家庭支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 基本的生活習慣の定着促進に関する「出前講座」の実施 事業01

<県関連事業（H28年度）>

- 01：基本的生活習慣定着促進事業（教育企画室）
- 02：はやね・はやおき・あさごはん推奨運動【非予算的手法】
（教育庁総務課，教育企画室，義務教育課，スポーツ健康課，生涯学習課）
- 03：「学ぶ土台づくり」普及啓発事業（教育企画室）
- 04：みやぎの食育推進戦略事業（健康推進課）

（3）今後の課題等

- ・ 子供の生活習慣は、親の生活習慣に大きく影響されることから、家庭への啓発を行っていくとともに、地域社会や教育現場、行政機関が一体となって、引き続き社会全体で基本的生活習慣の確立に向けた取組を進めていく必要がある。
- ・ 施設ごとの状況を踏まえ、各幼稚園、保育所等に対して基本的生活習慣の確立に向けた取組の実施について働きかけを行っていく必要がある。
- ・ 基本的生活習慣の確立に向けて、健康三原則（運動・食事・睡眠）の意識を高める健康教育が重要である。

施策 4：体力の向上と食育の推進による望ましい食習慣の確立

(1) 目標指標の状況

No.	指標名	初期値 (H26)	H27	H28	目標値 (H29)
1	朝食に、「主食、主菜、副菜、その他」、「主食、主菜、副菜」をそろえると答える保護者の割合	36.0%	34.8%	35.2%	45%
2	子どもが家で遊ぶとき、「ほとんど室外」、「どちらかといえば室外」と答える保護者の割合	27.7%	<u>31.0%</u>	<u>35.2%</u>	30%

※下線は、目標値（H27.3設定）を達成しているもの。

(2) 取組の実施状況

取組（第2期計画）	取組の実施状況（予定）※H27～H29年度
① 外遊び等のすすめと運動習慣の定着促進	<ul style="list-style-type: none"> 体力・運動能力調査記録カードの作成・活用 事業01 体力・運動能力向上出前研修会の実施 事業01 元気アップみやぎっ子webなわ跳び広場の開催 事業01 ルルブル親子スポーツフェスタの開催（H27:参加者約2,000人（仙台市）、H28:参加者約1,400人（石巻市）） 事業02 ルルブルロックンロール教室の実施（H28:40か所） 事業02
② 食育の推進	<ul style="list-style-type: none"> 宮城の「食」の情報発信を行う人材「食材王国みやぎ伝え人（びと）」の登録・派遣（H27:登録32人、派遣16件、H28:登録33人、派遣10件） 事業03 みやぎ食育フォーラムの開催（H27:参加者300人、H28:参加者300人） 事業04 みやぎ食育コーディネーターの活動支援（研修会等）（H27:6回、H28:3回） 事業04 みやぎ食育応援団の食育活動への派遣マッチング（H27:29件、H28:20件） 事業04

< 県関連事業（H28年度） >

- 01：みやぎの子どもの体力・運動能力充実プロジェクト事業（スポーツ健康課）
- 02：基本的な生活習慣定着促進事業（教育企画室）
- 03：食育・地産地消推進事業（食産業振興課）
- 04：みやぎの食育推進戦略事業（健康推進課）

(3) 今後の課題等

- ・ 子供たちの健康な体づくりと体力・運動能力の向上に向けて、幼児期から運動遊びなどを通じて体を動かす習慣を身に付けさせていく必要がある。また、肥満傾向児出現率や、むし歯被患者の割合が高いことを踏まえ、体力・運動能力の向上と合わせた健康教育が重要である。
- ・ これから親となる若い世代を中心に、栄養のバランスのよい食事など、望ましい食習慣についての啓発が必要である。

施策5：ライフ・ワーク・バランスの促進

(1) 目標指標の状況

No.	指標名	初期値 (H26)	H27	H28	目標値 (H29)
1	生活と親の仕事とバランス（「ライフ・ワーク・バランス」が「とれている」、「どちらかといえばとれている」と答える保護者の割合	77.2%	73.9%	72.1%	95%

(2) 取組の実施状況

取組（第2期計画）	取組の実施状況（予定）※H27～H29年度
① ライフ・ワーク・バランスを意識した子育て支援の啓発	<ul style="list-style-type: none"> 父親の家庭教育参画支援事業（H28:3回） 事業01 ワーク・ライフ・バランス推進のための企業交流会の開催（H27:参加者25人） 事業02 県内中小企業へのアドバイザー派遣（H28:20回） 事業02 パンフレット「ワーク・ライフ・バランスガイド」の作成・配布（発行部数:3,000部） 事業02 「働き方改革」関連法令をまとめたガイドブックを作成・配布（H29 予定） 事業02 「女性のチカラは企業の力」普及推進シンポジウムの開催（H27:参加者170人, H28:参加者220人） 事業03 「いきいき男女共同参画人材育成事業」セミナー・ワークショップの開催（H27:4回, 参加者79人, H28:5回, 参加者98人） 事業03 女性のチカラを活かす企業認証（361件（H29.3.1時点）） 事業03 男性にとっての男女共同参画普及啓発ワークショップの開催（H27:3回, 参加者133人, H28:6回, 参加者296人） 事業03 「いきいき男女・にこにこ子育て応援企業」表彰 事業04

< 県関連事業（H28年度） >

- 01：協働教育推進総合事業（生涯学習課）
- 02：中小企業ワーク・ライフ・バランス支援事業（雇用対策課）
- 03：いきいき男女共同参画推進事業（共同参画社会推進課）
- 04：子育てにやさしい企業支援事業（子育て支援課）

(3) 今後の課題等

- 各企業において、ライフ・ワーク・バランスの重要性やその効果について理解が進んでいない現状があることから、引き続き普及啓発活動を行うとともに、特に、ライフ・ワーク・バランスの取組が進んでいない中小企業に向けた働きかけを行っていく必要がある。

施策6：人とかかわる体験の充実（重点事項）

（1）目標指標の状況

No.	指標名	初期値 (H26)	H27	H28	目標値 (H29)
1	子どもが自然体験活動を「何度も（いつも）している」と答える保護者の割合	14.7%	24.3%	20.5%	30%
2	子どもが家事・手伝いを「いつもしている」と答える保護者の割合	29.5%	29.3%	29.8%	40%
3	居住する地域において、体験活動について参加できるイベントや催しが「ある」、「あるものが多い」と答える保護者の割合	22.1%	22.8%	21.3%	35%

（2）取組の実施状況

取組（第2期計画）	取組の実施状況（予定）※H27～H29年度
① 親子参加プログラム及び情報の提供（自然体験交流活動など）	<ul style="list-style-type: none"> 地域における体験活動の機会の拡充を図るため、グリーン・ツーリズム活動実践者等に向けグリーン・ツーリズムアドバイザー派遣による現地指導を実施（H27:12件、H28:15件） 事業02 自然の家における自然体験プログラムの実施（H28:7回） 事業04 自然の家における「学ぶ土台づくり『自然体験活動』」の実施（H27:参加者155人、H28:参加者257人） 事業04
② 「何も（し）ない（能動的活動を促す取組）」体験プログラムの提供	
③ 地域資源・人材の活用とネットワークづくり	<ul style="list-style-type: none"> 子育てサポーター養成講座の開催（H27:参加者130人、修了者90人、H28:参加者113人、修了者79人） 事業01 子育てサポーターリーダー養成講座の開催（H27:参加者79人、修了者33人、H28:参加者74人、修了者38人） 事業01 子育てサポーターリーダーネットワーク研修会の開催（H27:参加者179人、H28:参加者200人） 事業01
④ 異世代・異年齢交流の促進	
⑤ 伝承遊びの普及を通じた地域の人とかかわる機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> 児童文化講座の開催（H27:4回、参加者270人、H28:2回、参加者173人、H29（予定）:2回、定員200人） 事業05

< 県関連事業（H28年度） >

- 01：協働教育推進総合事業（生涯学習課）
- 02：グリーンツーリズム促進支援事業（農村振興課）
- 03：豊かな体験活動推進事業【非予算的手法】（義務教育課）
- 04：人と自然の交流事業（生涯学習課）
- 05：児童健全育成事業（子育て支援課）

(3) 今後の課題等

- ・ 各家庭に対して自然体験活動等への参加を促すため、地域の資源や人材を活用し、身近な地域における体験活動の機会の拡充を図るとともに、体験活動の重要性について学ぶ機会の充実を図っていく必要がある。
- ・ 地域資源・人材の活用とネットワークづくりに向けて、子育てサポーターや子育てサポーターリーダー等の養成・活用を促進するとともに、各家庭に取組の周知を図っていく必要がある。
- ・ 子供が地域社会の中で人間性や社会性を培っていくため、高齢者や中学生、高校生等とふれあう異世代・異年齢交流を促進していく必要がある。

施策 7：遊びの環境づくり

(1) 目標指標の状況

No.	指標名	初期値 (H26)	H27	H28	目標値 (H29)
1	遊びの場としてコミュニティ施設を「いつも利用している」「時々利用している」と答える保護者の割合	32.4%	<u>65.2%</u>	63.3%	65%

※下線は、目標値（H27.3 設定）を達成しているもの。

(2) 取組の実施状況

取組（第2期計画）	取組の実施状況（予定）※H27～H29 年度
① 安全・安心の遊び場づくり	<ul style="list-style-type: none"> 放課後子ども教室の実施（H27:18市町村59教室, H28:20市町村65教室） 事業01 放課後児童クラブブロック研修会の開催（H27:4地区, 計51人参加, H28:4地区, 計33人参加） 事業01 放課後子ども教室指導員等研修会の開催（H27:参加者87人, H28:参加者78人） 事業02

< 県関連事業（H28 年度） >

- 01：放課後子ども教室推進事業（生涯学習課）
- 02：協働教育推進総合事業（生涯学習課）

(3) 今後の課題等

- ・ 安全・安心な居場所づくりを推進するため、放課後子ども教室及び放課後児童クラブの計画的な整備を進める必要がある。
- ・ 安全・安心な環境づくりの観点から、子供たちの見守り活動を行う学校安全ボランティア（スクールガード）の養成・研修の充実を図るとともに、幼稚園、保育所等と行政、警察等関係機関との連携強化を進める必要がある。

施策 8 : 幼・保・小の連携と小学校への円滑な接続 (重点事項)

(1) 目標指標の状況

No.	指標名	初期値 (H26)	H27	H28	目標値 (H29)
1	小学校との連携を「情報交換」と答える幼稚園と保育所等の割合	70.4%	59.2%	64.5%	80%
2	現在の研修状況について、「満足している」、「だいたい満足している」と答える幼稚園教諭, 保育士等の割合	79.3%	79.8%	75.9%	95%

(2) 取組の実施状況

取組 (第2期計画)	取組の実施状況 (予定) ※H27~H29 年度
① 連絡協議会などの体制整備	<ul style="list-style-type: none"> 「学ぶ土台づくり」推進連絡会議の開催 (H27:1回, H28:1回) 事業01 幼・保・小連携推進地区の指定, 公開研究会の実施 (推進地区:2地区 (H27:村田町, H27・H28:大崎市松山地区)) 事業02
② シンポジウム・ワークショップ開催による啓発	<ul style="list-style-type: none"> 「学ぶ土台づくり」研修会の開催 (H27:参加者 185人, H28:参加者 138人) 事業01 「学ぶ土台づくり」圏域別親の学び研修会の開催 (H27:7圏域 20回, H28:7圏域 22回) 事業01
③ 就学前の相互交流	
④ 幼保一体化に関する情報収集	<ul style="list-style-type: none"> 幼児教育先進県視察 (H27:栃木・群馬, H28:福井) 事業01 内閣府「子ども・子育て支援新制度都道府県説明会」参加 文科省「『幼児教育の推進体制構築事業』意見交換会」参加 事業01
⑤ 研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各幼稚園及び保育所等へ「幼児教育アドバイザーを派遣」(H29 予定) 事業01 現任保育士に対する研修の実施 (H27:40回, 参加者 1,792人, H28:37回, 参加者 2,063人) 事業03 公立幼稚園等の新任教員に対する研修の実施 (幼保連携型認定こども園, 私立幼稚園も対象) 事業04 幼稚園, 小・中・高等学校及び特別支援学校の10年経過教員に対する研修の実施 事業05 公私立の幼稚園・保育所・認定こども園の教職員に対する食物アレルギー研修会の実施 (参加者※H28は私立のみ:94人) 事業06 学校体育研修派遣伝達講習会の参加対象に幼稚園・保育所を加えて開催 (H28:幼稚園参加者6人) 事業07
⑥ 上級免許・資格の取得と免許・資格の併有促進	

< 県関連事業 (H28 年度) >

- 01 : 「学ぶ土台づくり」普及啓発事業 (教育企画室)
- 02 : 幼・保・小連携推進事業 (義務教育課)
- 03 : 現任保育士研修事業 (子育て支援課)
- 04 : 幼稚園等新規採用教員研修事業【教職員 CUP 事業】(教職員課)
- 05 : 10年経験者研修事業【教職員 CUP 事業】(教職員課)
- 06 : 食物アレルギー・アナフィラキシー対応研修会 (私学文書課)
- 07 : 学校体育研修派遣事業 (スポーツ健康課)

(3) 今後の課題等

- ・ 「幼稚園教育要領」や「保育所保育指針」等の改訂（平成30年度から全面実施）を踏まえ、幼稚園教員や保育士等の資質の向上を図るため、関係機関と連携を図りながら、園内研修も含め、全ての教育現場において研修の充実を図る必要がある。
- ・ 幼・保・小の連携と小学校への円滑な接続に向けて、学びの連続性を意識した「アプローチカリキュラム」や「スタートカリキュラム」例の作成など、全県的な取組を行う必要がある。

施策 9：特別支援教育の推進と理解の促進（重点事項）

（1）目標指標の状況

No.	指標名	初期値 (H26)	H27	H28	目標値 (H29)
1	発達障害等について相談したいとき、どこに相談したらよいか「知っている」、「だいたい知っている」と答える保護者の割合	53.8%	53.0%	41.3%	65%

（2）取組の実施状況

取組（第2期計画）	取組の実施状況（予定）※H27～H29年度
① 特別な支援を必要とする子どもの早期発見のためのシステムづくり	<ul style="list-style-type: none"> モデル地区の指定（H27:27市町村，H28:27市町村） 事業01 発達障害に関する研修会の実施（H27:22回，H28:9回） 事業01 専門家等による巡回相談の実施（H27:48回，H28:139回） 事業01 宮城県特別支援連携協議会の開催（H27:2回，H28:2回） 事業03 就学指導審議会の開催（H27:2回，H28:2回） 事業04 就学指導審議会専門委員会の開催（H27:4回，H28:4回） 事業04 児童相談所職員による相談の実施【検診】（H27:883件，H28:747件） 事業05 保健所における発達相談，専門スタッフ派遣，ケア会議の実施 事業07
② 特別な支援を必要とする子どもへの対応	<ul style="list-style-type: none"> 訪問指導による相談対応（H27:1,766件，H28:1,018件） 事業02 電話又は来校による相談対応（H27:6,116件，H28:2,975件） 事業02 児童相談所職員による相談の実施【指導】（H27:268件，H28:129件） 事業06 相談窓口の開設（H27:10法人12か所，H28:10法人12か所） 事業08 発達障害者支援セミナーの開催（H27:参加者130人，H28:参加者154人） 事業09 障害児保育に係る運営費支援（H27:13市町村，H28:11市町村） 事業10 「学ぶ土台づくり」研修会の開催（H27:参加者185人，H28:参加者138人） 事業11

< 県関連事業（H28年度） >

- 01：発達障害早期支援事業（特別支援教育室）
- 02：特別支援教育地域支援推進事業（特別支援教育室）
- 03：特別支援教育総合推進事業（特別支援教育室）
- 04：障害児就学指導審議会（特別支援教育室）
- 05：乳幼児精神発達精密検診及び事後指導事業（子育て支援課）
- 06：総合教育センター教育相談事業費（特別支援教育室）
- 07：心身障害児等発達・療育支援事業（子育て支援課）
- 08：障害児（者）相談支援事業（障害福祉課）
- 09：発達障害者支援センター運営事業（障害福祉課）
- 10：障害児保育事業（子育て支援課）
- 11：「学ぶ土台づくり」普及啓発事業（教育企画室）

(3) 今後の課題等

- ・ 特別な支援を必要とする子供の割合が増えている現状を踏まえ、関係機関の連携のもと、乳幼児期からの支援体制の充実を図り、障害のある（疑いのある）子供の早期発見、早期対応を行っていくことが重要である。また、共生社会の実現に向けて、多様な個性を持つ全ての子供たちが安全・安心に過ごすことができるように、放課後等における地域の中での居場所づくりを見据え、指導者の育成等を通じて支援体制を充実させていく必要がある。
- ・ 幼稚園教員・保育士等への研修の充実を図り、特別な支援を必要とする子供への正しい理解と認識を深めるとともに、親が適切に子供とかかわれるよう、各家庭に対して情報提供及び啓発を行っていく必要がある。

施策 10：地域における支援体制の充実

(1) 目標指標の状況

No.	指標名	初期値 (H26)	H27	H28	目標値 (H29)
1	子育ての悩みについて相談する人がいると答える保護者の割合	98.1%	98.0%	97.5%	100%

(2) 取組の実施状況

取組（第2期計画）	取組の実施状況（予定）※H27～H29年度
① 地域における教育ネットワークの整備	<ul style="list-style-type: none"> 協働教育プラットフォーム事業（委託事業）の実施（H27:32市町村, H28:30市町村） 事業01 「みやぎ教育応援団」事業の実施（H27:団体243件, 個人493人登録, H28:団体275件, 個人500人登録） 事業01 協働教育研修会の開催（H27:参加者1,103人, H28:参加者1,031人） 事業01 協働教育ネットワーク会議の開催（H27:参加者258人, H28:参加者220人） 事業01 協働教育推進功績表彰（H27:6個人, 2団体, H28:7個人, 2団体） 事業01 子育てサポーター養成講座の開催（H27:参加者130人, 修了者90人, H28:参加者113人, 修了者79人） 事業01 子育てサポーターリーダー養成講座の開催（H27:参加者79人, 修了者33人, H28:参加者74人, 修了者38人） 事業01 子育てサポーターリーダーネットワーク研修会の開催（H27:参加者179人, H28:参加者200人） 事業01 宮城県家庭教育支援チーム研修会の開催（H27:参加者117人, H28:参加者136人） 事業01 市町村家庭教育支援チームの設置（H27:17市町村, H28:20市町村） 事業01 地域子育て支援センターの運営支援（H27:3市町村, H28:2市町村） 事業02 妊娠・出産包括支援事業に取り組む市町村を支援するため、研修会を実施 事業03
② NPOとの協働	<ul style="list-style-type: none"> 地域学校協働活動推進事業として市町村がNPOに業務委託し、研修会等を実施（H29～） 事業01

< 県関連事業（H28年度） >

- 01：協働教育推進総合事業（生涯学習課）
- 02：地域子育て支援センター事業（子育て支援課）
- 03：妊娠・出産包括支援推進事業（子育て支援課）

(3) 今後の課題等

- 教育現場における「みやぎ教育応援団」の活用や、市町村家庭教育支援チームの設置の促進を図るなど、「みやぎの協働教育」を更に充実・発展させ、家庭、地域社会、教育現場が一体となって教育に取り組んでいく必要がある。
- 親が子育てに安心して取り組めるように、NPOや地域支援団体と連携し、支援体制の充実を図るとともに、各家庭に対して更に周知を行う必要がある。